

● 団体活動にお役立てください!

団体の広報力 UP 講座 (連続2回)

自分たちの団体の魅力が伝えたい相手にきちんと伝わっていますか？
誰に何をどのように伝えればいいのか広報の基本を学び、具体的な広報戦略を立てましょう。

日時 ● ①9月28日(土)
②11月9日(土)
各回 13:30 ~ 15:30

場所 ● ひらつか市民活動センター
講師 ● 北原 まどか氏 (認定NPO 法人森ノオト理事長)
定員 ● 先着 10 団体 (参加無料)



団体の活動を見つめ直し未来を描く～協働から生まれるまちづくり～ 市民活動応援講座 (連続3回)

目の前の事業(イベント)に追われているとつい見失ってしまう団体のビジョンミッション。
団体の魅力・存在意義を改めて再確認すると共に、市民協働のまちづくりを皆さんと一緒に進めていきませんか？

日時 ● ①9月1日(日) 台風のため9月21日(土)に延期
②10月5日(土)
③10月27日(日)
各回 14:00 ~ 16:00

場所 ● ひらつか市民活動センター
講師 ● ②椎野 修平氏 (日本NPOセンター特別研究員)
③山ノ内 凜太郎氏・米元 洋次氏 (合同会社 Active Learners)
定員 ● 先着 10 団体 (20名程度・参加無料)



「TOKA | グローカルフェスタ2024」へ出展します

ひらつか市民活動センターは東海大学で開催されますTOKA | グローカルフェスタに今年も出展します。
たすけあい文庫やNPO相談などいつものセンターを飛び出して出展します。
お越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

日時 ● 10月12日(土)
10:30 ~ 15:00
場所 ● 東海大学湘南キャンパス (平塚市北金目4-1-1)
お問い合わせ ● 平塚市協働推進課
電話: 0463-21-9618



編集後記

この夏は、連日の猛暑に加え、地震、台風と自然災害が続きましたが、皆様お変わりないでしょうか？
さて、センターでは恒例となった防災座談会を9月29日に開催します。いつ何時訪れるかわからない災害に備えるためにも、日頃の防災対策を団体の皆さんと一緒に改めて考えていきたいと思ひます。
分野を問わずご参加ください。(こ・い)



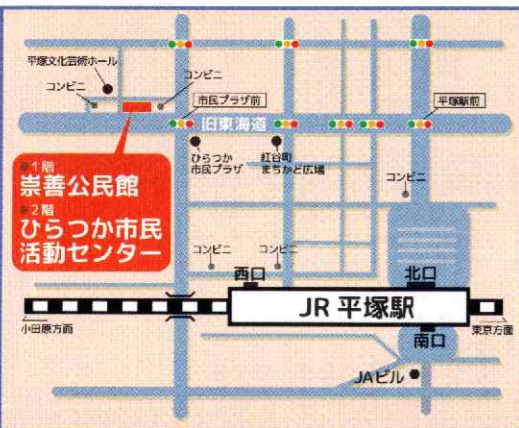
編集・発行

ひらつか市民活動センター

(閉館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
神奈川県平塚市見附町 1-8
TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
URL ● http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数 (2024年8月15日現在)
登録団体数 ● 451 団体
(内訳 市民活動団体...318 団体、一般団体...133 団体)



No. 40 ひらつかの風

2024年9月号
(令和6年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 第6回 平塚市みんなのまちづくり事例募集
- P.2団体レポート 『神奈川県傾聴赤十字奉仕団(平塚)』
- P.3お役立ち情報
- P.4センター情報

団体レポート

『神奈川県傾聴赤十字奉仕団(平塚)』 ～ 傾聴ってなあに?～



平塚市情報

第6回 平塚市みんなのまちづくり事例募集

募集期間 ● 令和6年8月16日(金)~10月11日(金)

市民活動団体や自治会・町内会などの地域で活動する団体、事業者、大学等が市内で実施する、地域の課題や困りごとを解決する活動・取組みを募集します。
応募された取り組みはすべて、「平塚市みんなのまちづくり事例集」に掲載し、PRします。また、応募事例の中から、「年間大賞」を平塚市市民活動推進委員会にて選定し、表彰します。

応募用紙や詳しい応募条件は、市ウェブサイトやチラシをご覧ください。

※右記の応募フォーム(二次元コード)からも応募できます。

お問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 市民協働担当 電話 ● 0463-21-9618



● ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!

センターから発信する様々な報告・情報は
右記の二次元コードから見られます。

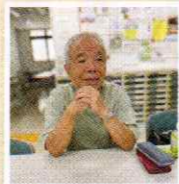


団体レポート

『神奈川県傾聴赤十字奉仕団(平塚)』 ～傾聴ってなあに?～

高齢化社会を迎え、お一人暮らしの方や高齢者施設で暮らす方々の心を「聴く」という活動で支える「傾聴ボランティア」は、人気の高いボランティア活動の一つです。相手の話を丁寧に「聴く」ことで、相手の心が軽くなったり、気持ちの整理ができたりなど、ただ話して楽しかったというだけではない効果があります。

ひらつかの風 40号では「神奈川県傾聴赤十字奉仕団(平塚)」代表の臼井孝さんに「傾聴ボランティア」の魅力を伺いました。



▲代表の臼井さん

平成 31 (2019) 年度は施設や個人宅に訪問して年に 1,317 回の活動がありましたが、コロナ禍は活動を休止し、令和 5 (2023) 3 月から少しずつ活動を再開しているとのこと。ご依頼は平塚市社会福祉協議会ボランティアセンター、高齢者よるず相談センター(地域包括支援センター)、ケアマネジャーを通じての紹介となります。このところ施設からの要望も徐々に増えているので、活動の場を広げていきたいそうです。



▲団体集合写真

7月15日(月)、毎月開催している定例会を見学しました。定例会では活動報告、情報共有とともに新しい団員へのレクチャーなどを行っていました。4年ぶりに活動を再開された団員の方々の「活動がない時期は苦しかった。歓迎されて利用者さんが喜んでくれた」「たくさん話してくれるのが嬉しかった。これからも続けていきたい」と笑顔で報告している姿が印象的でした。

「コミュニケーションの希薄な現代ですが、人生100年時代、高齢者の方々から日々学び、生きる現実と向き合い、傾聴団体として地域に役立てるよう団員の皆さんと活動していきたい」また「今後は独居の方の依頼に対応するため男性の団員が増えると嬉しい。出かけて行って話を聞くと世界が広がります。楽しみながら勉強させてもらっています」と笑顔で話す臼井さん。優しいまなざしの奥に秘めた強い意志を感じました。

訪問先では、なかなか心を開いてくれない方や、反対に堰を切ったように話し始める方もいます。家族の話、仕事の話、趣味の話、愚痴やさびしさなど内容は様々です。利用者さんは「話を聴いてほしい」と思っているので、熱心に耳を傾けます。また、定例会では団員の心のケアとしてピアサポート活動を大事にしています。団員同士が気軽に相談し合える環境づくりと同時に守秘義務の大切さも伝えています。活動には楽しいことも辛いこともありますが、振り返りや、ロールプレイング等を実施し傾聴への学びを深め、次の活動に向かえるよう心掛けていくとのことでした。



▲定例会で学び合う団員の皆さん



▲テーブルに花を添え 雰囲気づくりも大切に

現在、50代から80代の男性4名女性24名計28名で活動しています。傾聴ボランティアで大切なことは「相手の話を否定しないこと。肯定・共感しながら聴くこと」です。入会には社協ボランティアセンター、神奈川県傾聴赤十字奉仕団主催の「傾聴ボランティア養成講座」を受講していただくようお願いしています。団体の詳細や「傾聴ボランティア養成講座(全3回)」～あなたも聴き上手になりませんか?は、ひらつか市民活動センターのHPからも紹介しています。

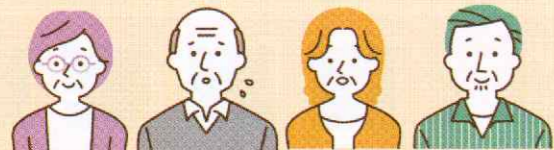
傾聴ボランティアをしてみたいと考えている方は、ぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか?

取材を終えて～

「傾聴」は自己の成長を促し、「傾聴ボランティア」は心を豊かにする第一歩です。相手の方のお話に興味と受容と共感を持って聴かせていただく。人に関心を持つことは、自分に関心を持つこと、世界・興味が広がるので、面白い毎日を過ごすことができる、と傾聴ボランティアの活動から学びました。(い・こ)

お問い合わせはこちら

神奈川県傾聴赤十字奉仕団(平塚)
TEL: 080-9863-8694 代表: 臼井
センターHP: <https://www.hiratsuka-shimin.net/>



センターレポート

「夏休み子どもわくわくフェスタ 2024」 開催報告



7月27日(土)10:00~14:30、夏休みに遊んで学べるイベントとして「夏休み子どもわくわくフェスタ」を開催しました。子どもの頃からボランティア活動に触れ、親しんでもらうことを目的に市内の活動団体等に体験メニューを企画・協力いただいたイベントです。近隣の小学生とその家族を対象に、1階の崇善公民館と2階のひらつか市民活動センターの全館を活用し、18団体が出展。延べ1886名の方にご来場いただき大盛況でした。



▲エントランスの様子

1F 崇善公民館

ホール・会議室1・2・和室では、7団体が出展しました。



▲好きな色を塗ってスタンドアートづくり、缶バッジづくりをしました。



会議室では缶バッジ・お花のキャンドル・ペットボトルエコクラフトなど工作を楽しむブース、ホールでは楽器作りとリズムや手話ダンス、和室ではボードゲームを楽しむことができました。



▲和室では様々な種類のボードゲームを楽しむことができました。



▲整理券を配布して順番を待つ方々など、各ブースは来場者の方で賑わっていました。

2F ひらつか市民活動センター

会議室A・B・C・ミーティングスペースには11団体が出展しました。



▲中央ミーティングスペースはガーランドでお祭りモード。



▲お花を使ったミニカップケーキを真剣に楽しく作りました!

防災ワークショップや防災ポトルづくり、おもちゃの修理、魚つり、竹細工やお花マグネット作り、マジック教室にサイエンス教室、崇善カルタづくり、江陽中学校科学部による葉脈標本や吹きゴマのブースが出展しました。



ごあいさつ

今回、平塚学園インターアクトクラブ3名と成城大学1名の計4名の学生がイベントサポーターとして当日の運営などのお手伝いをしてくださいました。ご出展いただいた18団体175名の皆様、ボランティアとしてお手伝いいただいた皆様、ご来場いただいた皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

出展団体一覧(敬称略) 計18団体

- UD DANCE SCHOOL
- ボーイスカウト平塚市連絡協議会
- あいあいリズム
- ガールスカウト神奈川県第23団
- (一社) OHANA
- ママぎゅっと
- 竹遊会
- NPO 法人フラワーセラピー研究会
- 湘南ひらつかマジシャンズ
- 平塚地区 BBS 会
- 平塚友の会
- ひらつか災害ボランティアネットワーク
- 親と子の寺子屋ふれあい自遊塾
- おもちゃの病院ドクターくるりん
- 江陽中学校科学部
- 崇善地区社会福祉協議会
- NPO 法人血管医学研究推進機構
- ひらつか防災まちづくりの会